

土砂災害に備えましょう

5月1日から「新たな土砂災害のおそれのある箇所」を公表します

皆さん、土砂災害についてご存じですか？

土砂災害は、発生のしくみや土砂の動きから、大きく「土石流」「急傾斜地の崩壊(崖崩れ)」「地すべり」の3つに分類されます。

県は、土砂災害のおそれがある箇所を調査し、土砂災害が発生した場合に、生命や身体に危険が生じるおそれがある箇所を「土砂災害警戒区域」、著しい危険が生じるおそれがある箇所を「土砂災害特別警戒区域」に指定しています。指定された区域では、市町村が避難場所や避難路の設定などの警戒避難体制を整備しています。

現在、県内では約8500カ所の土砂災害警戒区域等が指定されていますが、近年、雨の降り方が激しくなり、警戒区域外でも土砂災害が頻発しています。

そのため県は、詳細な地形図を基に、「新たな土砂災害のおそれのある箇所」約18700カ所を抽出しました。今後、詳細な調査を行い、土砂災害警戒区域等への指定を進めていきますが、大雨などの際の避難に役立てていただくため、5月1日からWEB上の「宮城県砂防総合情報システム(MIDSKI)」で事前公表します。

お住まいの地域の危険箇所を事前に把握し、大雨などの際に円滑な避難を行えるよう、日頃から備えましょう。



山から崩れた土や石が、水と一緒に強いの勢いで流れ下ってくる。



急な斜面が一気に崩れる。



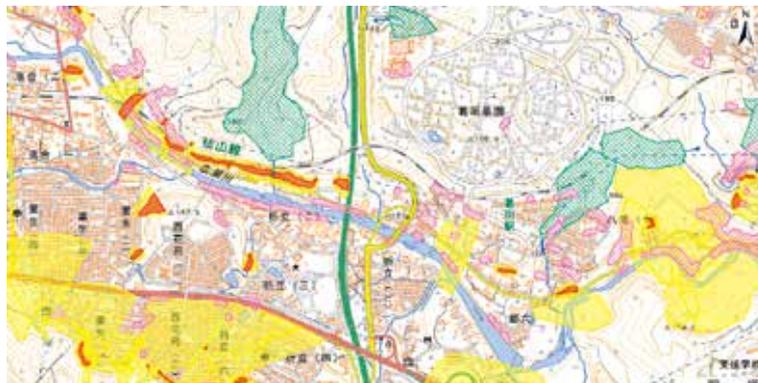
やや傾斜の緩い斜面が、広い範囲にわたってかたまりのまま動く。



令和3年7月 静岡県熱海市伊豆山土石流の様子

宮城県砂防総合情報システム(MIDSKI)について

宮城県砂防
総合情報システム
(MIDSKI)はこちら



公表のイメージ(仙台市青葉区の例)

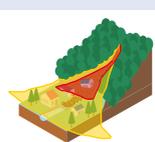
指定済みの土砂災害警戒区域等

崖崩れの被害が
想定される
エリア

崖崩れ後の危険
エリア全体を明
示

土石流の被害が
想定される
エリア

土石流発生時の
氾濫エリア全体
を明示



事前公表中の「新たな土砂災害のおそれのある箇所」

崖崩れの
おそれのある
斜面

崖崩れのおそれ
のある斜面のみ
明示

土石流のもと
となる流域と
流出方向

土石流のおそれ
のある渓流の流
下方向のみ明示



※緑色の区域内は雨が集まる集水面積を表すもので、区域内全てが危険というものではありません。

※ 上図のとおり「土砂災害警戒区域等」と「新たな土砂災害のおそれのある箇所」では、示す範囲が異なりますのでご注意ください。

※ 事前公表した全ての箇所が土砂災害警戒区域等に指定されるわけではありません。

防災砂防課

☎022(211)3232

